

差別をするのも、差別をなくすのも わたしたちです

● 差別の原因は差別された人の側にもある

回答の割合	
よくあてはまる	5.0%
ややあてはまる	22.1%
どちらともいえない	35.6%

● 差別された人は、まず、世の中に受け入れられるように努力する必要がある

回答の割合	
よくあてはまる	9.3%
ややあてはまる	25.1%
どちらともいえない	34.8%

「令和元年度(2019年度)人権についての市民意識調査(豊中市)」より



受けても仕方がない差別なんてないよね
みんな幸せに生きたいよね



みんないつかは年をとって高齢者になるもんね

感染症や難病、こころの病にかかることもあるかもしれない

差別をするのは、周りにいるわたしたち一人ひとり

差別を受けるわたし差別をするわたし、どうしたらいい?

自分に関係のないことだとは言えないね



差別・排除

誰もが自分らしく 幸せに暮らすことが保障されているにも関わらず、私たちの生きる世界には差別や排除など、人権侵害が起こっています。

性別によるものや高齢者や障害者に対するもの、同和地区出身者に対するもの、アイヌの人びとに対するもの、性的マイノリティに対するもの、外国人に

対するもの、HIV感染者やハンセン病回復者とその家族、結核や麻疹などの

感染症患者に対するもの、生活保護受給者やホームレス、刑を終えて出所し

た人に対するものなど、人権問題はこれらに限らず日常生活を見渡すときりが

ありません。外国人に対する差別や排除には、生活習慣や文化の違いから起こ

るものや、特定の民族や国籍の人びとを日本の社会から排除しようとする

差別的言動、いわゆるヘイトスピーチの問題があります。また、東日本大震災や

新型コロナウイルス感染症に起因する偏見や差別など、新たな人権問題も起こ

ります。

誰もが差別や人権侵害を受けるために生きているのではなく、受けても仕方が

ないというものはありません。誰もが差別や排除されることなく、幸せに生き

たいと願っています。

■ 差別は特定の人に起こるものではなく、誰にでも起こりうるものです。

■ 差別をするのは、当事者の周りには一人ひとりです。他人ごとでは

なく、自分ごととして、しっかりと向き合い、考え続けていきましょう。